



安城ロータリークラブ 週報
ROTARY CLUB OF ANJO

●NO. 537 2012/3 第2例会●



2011-2012 RIテーマ

テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：杓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹 事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12:30～13:30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F／安城市御幸本町15-1
- TEL：0566 - 75 - 8866 ●FAX：0566 -74- 5678
- Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP：<http://www.anjo-rc.org>

第2647回例会

2012年3月9日(金)12時30分から13時30分

司会者：杉山淳一

ソング：「手に手つないで」

斉 唱：四つのテスト

ゲスト：小野内宣行君(安城)

：(株)キャッチネットワーク代表取締役社長 川瀬隆介様
ビジター：なし

出席報告

出席委員会 福田雅美君

会員56名 出席義務者45名 出席率100%

会長挨拶 会長 杓名俊裕君

本日、職場例会としてキャッチを訪問させていただきました。キャッチネットワーク代表取締役社長川瀬隆介様はじめ、キャッチ関係者の方々には大変お世話になります。お礼申し上げます。また、本日の例会の準備には、職業奉仕委員会の皆さんと内藤教恵君に大変ご苦勞をおかけしました。



キャッチは開局20年をお迎えで、社業も順調に推移しているとお聞きしております。

さて、本日は会社の朝礼でお話した年齢と自分を写す鏡についてお話しします。鏡に自分の顔を写すときに、下に写すと10年後の自分の顔がそこにあるようで、上に写すと10年前の自分の顔がそこにあるのだそうです。

で、自分で写して見ましたが、正直な感想はあまり変わりませんでした。ただ、若く見せたいときは、やや下から見上げるようにしたらいいかもしれません。

また、先日タニタの体重計を買いました。自分の年齢は61歳です。この体重計は体内年齢が表示できます。で、自分も乗ってみましたら、47歳と表示されました。このタニタの体重計は優れものだと思います。なにはともあれ、この歳になってきますと、常に体重をチェックするのは、大変に重要であると思います。

幹事報告 幹事 永谷文人君

*3/10(土)荒曾根公園にて植樹祭が行われます。13:00集合。

*3/11(日)観劇同好会がおこなわれます。当日名古屋シティマラソンがあります。道路状況にご注意ください。

*4/8(日)岡崎ニューグランドホテルにてお花見同伴例会を行います。

*3/16(金)IM報告書作成会議を12:00～・地区大会実行委員会を例会終了後行います。また、18:00～仔馬にてファイヤーサイドミーティングを行います。

*3/23(金)例会に功労会員の方をお招きいたしました。古居信平様・大参克己様・田渕芝男様・太田昭夫様・野村聰様の5名です。

ニコボックス報告 戸谷央君

本日のニコボックスメッセージの紹介

卓 話

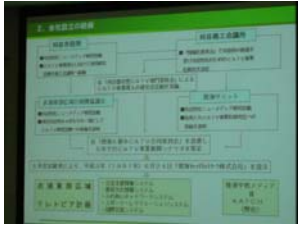
職場例会 (株)キャッチネットワーク



卓話者 (株)キャッチネットワーク代表取締役社長
川瀬隆介様

安城ロータリークラブ 週報
ROTARY CLUB OF ANJO

当社は1991年6月24日に地元の官民総意により、碧海キャッチネットワーク(株)として設立され、1992年12月20日開局し現在20年目をむかえます。



私は、デンスーから出向の身で出向以来デンスーに戻ることなく22年が経過した年に社長となり現在に至っております。いわゆるキャッチ一筋です。

現在のキャッチの放送エリアは幡豆と碧海一円で、面積は鳥取県とほぼ同じ面積となります。



当初の設備投資から5年は赤字で、6年目に単年度黒字を計上し、その後累積赤字の一扫に10年間かかりました。開局10年目には借入金66億円ありましたが、2012年にはすべて返済し、現在は無借金を実現できました。

テレトピア構想の中核メディアとして、社会貢献型事業を推進し、オンリーワン地域密着型メディア企業を目指し努力しています。

ケーブルテレビに対する基本理念としては、現在は放送と通信の垣根はなく、ケーブルテレビの単独事業の経営は無理で、(株)コミュニティネットワークという持ち株会社を設立し、メディアミックスを展開し、テレビ、FMラジオ、インターネット固定電話などを組み合わせ、情報が視聴者に必ず届く技術を展開しています。

情報受信の手段・ニーズは多様化し、PC、携帯電話、スマートホン、ラジオ、テレビ、緊急災害情報などとなっています。

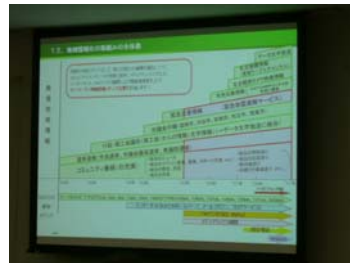
キャッチのケーブルテレビ局としての位置は、全国399局のうち、東海地方では4から5位、全国では15から25位くらいです。

ケーブルテレビ局業界は、2008年から成熟期には入っており、お客の取り合いとなっており、当局の競争相手は、CTC(コムファ光テレビサービス)やNTTプラスSカバー連合軍があります。

キャッチネクストは地域力の向上でそれらライバル局と闘っています。現在の市場は、光の同調圧力=市場が光でないとだめという時代で、キャッチの光サービスも、上りも下り300MBになります。2013年中には全エリアで光サービスの提供ができるようになり、インフラの敷設が完了します。

また、KATCHチャンネルの12CH化を推進しています。放送プログラムでは、リピート放送の縮小を進め、光化と低料金化の提供で地域貢献していきたいと考えております。

例会終了後は、館内を見学させていただきました。



地域情報化の取組みと全体像



経営理念



職業奉仕委員長 小野内宣行君



ニコボックス委員長 戸谷央君